

[小面積向き]

細流仕上げ
施工の手引き

適用品番

ジョリパットインフィニティー JQ-500シリーズ

【初版】平成24年 4月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-410	1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー	15kg/缶	約75~100 m ²
	セーフシーラー JS-800	1液水系珪酸系シーラー	16kg/缶	約80~106 m ²
主材	ジョリパットインフィニティ シリーズ 標準色 JQ-500T (...数字) 特注色 JQ-500 (...英字、 ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ パール缶	約7 m ²

セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m²/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ (ステンレス製)
- ・ダスター刷毛または左官刷毛

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

< 細流仕上げ施工方法 >

1. シーラー塗布

・JS-410の場合

配 合	J S - 4 1 0	1 5 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

・JS-800の場合

配 合	J S - 8 0 0	1 6 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・JQ-500シリーズを無希釈で0.9kg/m²となるよう
金ゴテ(ステンレス製)にて平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	J Q - 5 0 0 シリーズ	2 0 k g
塗 布 量	約 2 . 0 k g / m ²	
施工道具	金ゴテ(ステンレス製) 金ゴテにて、材料を均一に配り塗り。	

追いかけて(5分以内)

4. パターン付け

・ジョリパットが乾燥しないうちにダスター刷毛、
又は左官刷毛にて横方向にライン模様を付けてください
(図-1)。
・ダスター刷毛や左官刷毛に付着した主材はその都度、きれいに洗淨すると仕上がりがキレイになります。

< 施工のポイント >

- ・ダスター刷毛（または左官刷毛）は、パターン付けする方向に45°程度傾けてパターン付けを行ってください。
- ・細かくパターン付けを行うことにより、パターンのジョイント部分が目立ちにくくすることができます。

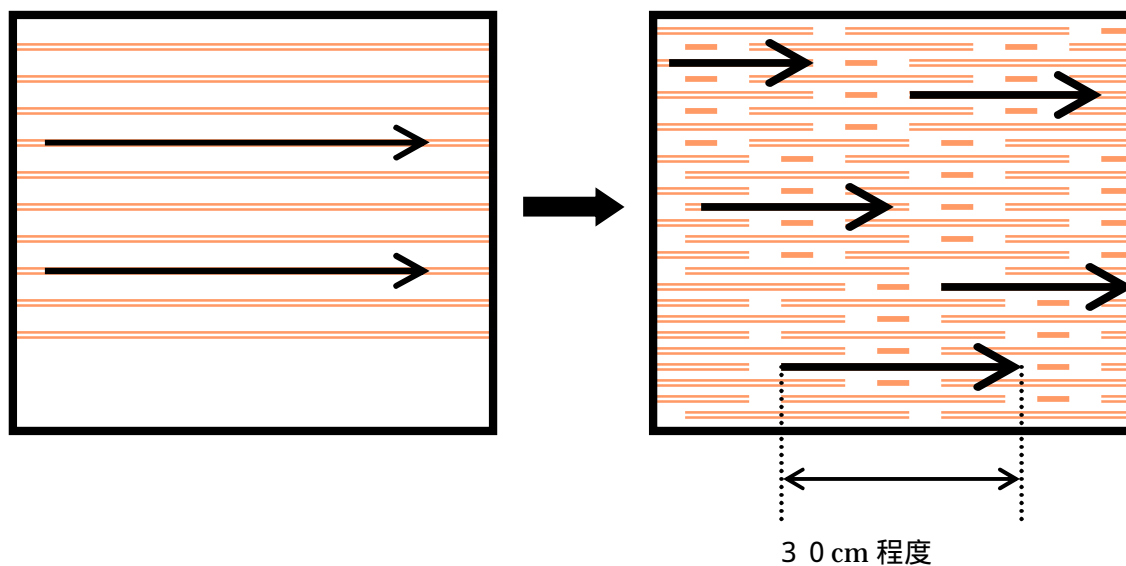
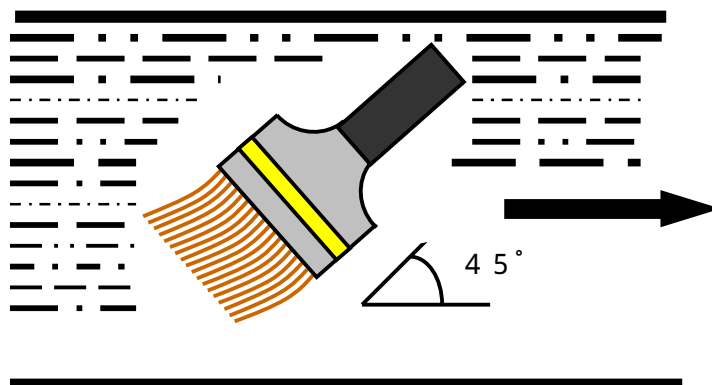
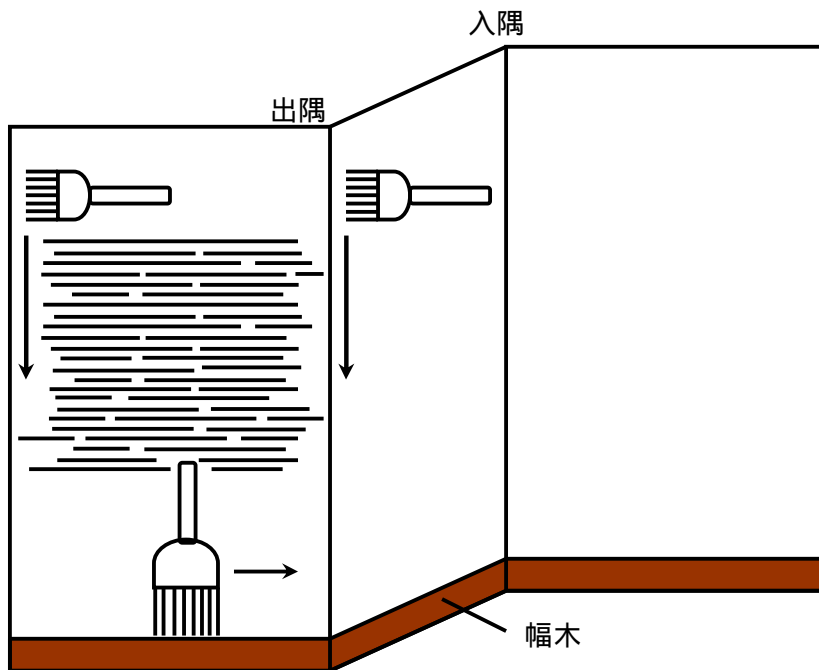


図 - 1

- ・入隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパットが乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえるとキレイに納まります。（図 - 2）



刷毛で押さえる工法
図 - 2

< 施工の注意事項 >

- ・ コテはステンレス製のものを使用し、施工してください。
鉄製の金ゴテを使用した場合、鉄錆の転写、削れた鉄粉の転写で塗膜が変色して見える(グレー色)恐れがあります。
- ・ パターン付けする際、ラインが蛇行したり斜めになったりしないよう注意して下さい。
- ・ ダスター刷毛に付着したジョリパットは常に除去して下さい。
(刷毛の毛先が束になると、模様が汚くなります。毛先は、常にバラバラになるよう注意して下さい。)
- ・ 何度もパターンの手直しをすると、ジョリパットが乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意してください。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討してください。)
- ・ 気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮ください。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上